

2004 年度工学部教務委員会の運営・活動方針案

1. 工学部教務委員会の役割

工学部教務委員会は、「**工学部長の諮問に応じ、工学部の教育課程の編成及び履修指導その他教務に関して研究協議するとともに、必要事項を建議することを目的と**」しており、建議された事項のなかの、学部長が必要と判断した事項が、教授会に諮られることとなります。また案件によっては、委員会が答申し工学部長の判断で同時に実施に移されることとなります。その間、主任教授会などの他の委員会組織において議題として審議されることは通常ありません。これは、本委員会委員を原則教授としていることから、相応の責任ある対処がなされるとの判断からであると考えます。ご出席の助教授・講師各位につきましても、同等の対処をいただける方々が委員となっただいただいていると考えております。

2. 委員への要望

(1) 教務委員の役割

各学科等の教務委員には、①学科等に関連する事項を審議する場合に、もっとも豊富な関連情報をお持ちの方として出席する、②学科等の教職員に情報を提供したり、逆に教職員からの意見を聴取し、その結果を委員会に報告するという二つの役割があります。その様な役割を担うことは当然として、本来的には、全学部的あるいは場合によっては全学的な見地から活動に関与することが求められていると考えます。なにとぞ、そのような見地から積極的な活動を期待いたします。また、従来、教務委員会で審議中の事項について、学科の意見を聴取する役割が重視されてきましたが、それに加えて、**全学的あるいは全学部的な見地から実現したい事項について、各学科等の教職員にその趣旨を説明し、理解とそれへの協力を要請し、説得してゆく役割もお願いしたいと考えています。**

(2) 学科等への報告・学科等からの意見聴取

通常、学科の意見を求める場合には約一ヶ月の猶予期間がとれるよう配慮したいと考えております。従いまして、学科教室会議等への報告と共に意見聴取・意見のとりまとめが求められた場合には、**約一ヵ月後の委員会に、求められた意見などを書面でご提出いただくよう、お願いいたします。**なお、この間に学科教室会議等が開催されない場合にも、回り持ち審議、メール等での意見聴取などによりご協力をお願いいたします。

(3) 教育研究センター各部門委員の役割

当委員会の構成員には、教育研究センターの各部門より 1 名ずつの委員が含まれております。この趣旨は、当該分野の直接的にかかわるカリキュラム等の審議に際して、当該部門の教員の存在は不可欠であるとの認識によるものと考えております。一方、学部内においては、教育研究センターの位置づけは学科相当であります。したがって、教育研究センター選出の各委員におかれましては、特に学科等としての意見が求められた場合、**極力教育研究センターとしての意見を提示できるよう、ご尽力をいただいております。今後とも、同様のご対応を期待いたします。**

(4) 審議事項の委員長への事前報告

教務委員会での審議あるいは報告を要すると思われる事項については、事前に委員長へお届けいただきたくお願い申し上げます。**各委員から、積極的な議題等の提案を期待します。**

(5) 欠席の場合の措置

欠席の折には極力**代理出席者**をたてていただくようお願いいたします。

3. 会議の進め方

(1) 月 1 回の委員会とWG活動

従来、月 1 回の開催であったものが、前々教務委員長時代に、月 2 回の開催となりました。これは、工学部として新構想の建議と実施を推進するための処置であったと理解しており、一定の成果はあったと思います。一方、教務委員の業務は多岐に亘り、委員会以外での業務も多く、さらに教育・研究という教員本来の仕事を圧迫していることも事実であると思います。そこで、本年度は、原則月 1 回の委員会開催に戻す。

(2) **多数決による議決も否定しない運営**

意見の一致を得るために練強く検討をすることが大前提ではありますが、価値観の相違などにより全会一致が無理な場合には、多数決による決定も否定しないこととする。

4. 主な検討課題と WG 構成案

各教務委員には少なくとも主要な 1 課題について主担当となっていていただき、関連する主テーマを担当される委員で WG を構成する。各委員は個人として提案をしてもよいし、WG での検討を踏まえて提案しても良い。

(1) **カリキュラム WG** : 2006 年度までに施行するカリキュラムの検討

工学部の学習教育目標 :

リメディアル教育 :

工学基礎 :

英語教育 :

工学教養 :

(2) **教育改善 WG** : 教育の改善に関する方策の検討+教育年報編集

コア教育の徹底 :

授業改善アンケート :

教育改善システム :

教育実践研究会 :

(3) **成績評価 WG** : 学業成績の適正な評価方法の検討

成績評価方法 :

学業の学生による自己評価 :

学習支援体制 :

(4) **教育環境 WG** :

ポータルサイト :

環境整備 :

(5) **大学院連携 WG** :

(6) **海外教育 WG** :

以上